

平成30年度 第1回宗像市男女共同参画推進懇話会 議事録（要旨）

日時：平成30年8月6日（月） 15時00分～16時15分

場所：宗像市役所北館 204会議室

出席者（敬称略）

委員	出欠	委員	出欠	委員	出欠
石山 さゆり	○	井川 春奈	○	小田 勇士郎	○
小森 雅子	○	八尋 照代	○	高山 芳文	○
山田 雄三	欠	永嶋 久子	○	占部 圭司	○

1 はじめのあいさつ

・宗像市男女共同参画推進課長 白木晋一郎

●=事務局 ○=委員

・委員自己紹介

2 委嘱状交付

3 会長、副会長選出

※宗像市男女共同参画推進懇話会規則第4条2項の規定に基づき委員の互選によって定める

会 長：石山 さゆり 委員

副 会 長：占部 圭司 委員

議事録署名人：今回の議事録署名人 小森雅子委員 ※会長・副会長を除く名簿順に担当する

4 議事

(1) 平成30・31年度スケジュールについて（資料1）

- 平成30年度は主にプランの進捗管理として、市の事業の評価を行っていただく。平成32年までに第3次プランを策定するにあたり、平成31年度には、プラン策定のための具体的な検討を始めるので、5回程度の懇話会開催を予定。
- 初めて参加する委員もいるので、プランとはどのようなものか、説明を。
- 資料3の2ページを参照いただきたい。第1次のプランが平成17年に策定。現在進行している第2次プランは10年計画であり、市の男女共同に関する施策の目安となる計画である。平成33年にスタートする第3次プランの策定にあたっては、今後宗像市が10年間どのように進んでいくべきか考え、形にしていきたい。

(2) 男女共同参画に関する市民意識調査について（資料2）

- 昨年度設問について懇話会で検討いただき、この7月に実施した調査。18歳以上の市民2000人を対象に実施し、現在回収率は35%ほどである。年代が上がると回収率が多くなる傾向にある。次回懇話会には集計結果をお示ししたい。この調査の結果は、第3次プランの検討材料にもなる。
- 設問については、どのように検討されたか。
- 5年ごとに調査をしている。どのように変化しているのか比較するために、設問の表現等になるべくそろえている。今回新たに、防災についての設問を追加している。

(3) 第2次男女共同参画プラン実施報告及び目標設定について（資料3・4・5）

- 資料3のP3にプランの進め方フロー図があるので参照いただきたい。懇話会で外部評価

をいただきながら、計画を進めている。平成29年度については、事業実施、担当課の自己評価、ヒアリング・男女課評価まで進めたところである。評価が入った進行管理シート（資料4）について、これから懇話会に評価をいただく。この評価を元に、各課へフィードバックしたり、市長との懇談時の材料としたりする。

- 資料3. P4にA～Eの評価基準を掲載している。また、P5・6の表を使い、基本施策ごとに自由記述形式で意見をいただきたい。基本施策とは、プランの目標を達成するためのテーマ11項目である（資料3. P7参照）。
- 資料5は、目標と実施を2年比較できるように組み替えたものであるので、参考にさせていただきたい。
- ABC評価は、できるだけ多く埋めていただきたいと考えているが、特に重点事業（資料4で★で示しているもの、平成25年懇話会で決定）としている事業については、評価の記入をお願いしたい。
- 返信用封筒を使用し、8月末締切で提出を。間に合いそうにない場合、個別に相談に応じたい。
- 個人の考えで評価したらよいのか、団体に持ち帰り検討した方がよいのか。
- 各団体の代表として参加いただいているので、団体としての活動から感じている点を反映していただくことを期待しているが、評価は個人の考えで記入してよい。
- 機械的に評価することはできるが、真に事業内容を理解して評価しているわけではないと感じている。ヒアリングの中で男女課が検討した内容は、進行管理シートの中に反映されているのか。
- ヒアリング後に実施報告の内容を修正し反映されている。具体的には、担当課の実施報告にさらに数値の報告を求めたり、記載されていない事業の追記を求めたりしている。こういった作業を経ているので、結果として担当課と男女課の評価はそろった状態になっている。
- 自由記述の部分は、どのような観点で記入すればよいか。
- 進行管理シートには、現在実施している事業をベースに評価を付けることになる。もっとこういう事業をした方がいいという意見や、全体的な感想、どの事業にも当てはまらない内容などは記述式の方に記入していただければ。箇条書きでもよいので、率直に記入をいただきたい。
- 紙面上の実績だけを見て評価することは難しい。実際に事業に参加したこともなく、この資料しか材料がないので事業自体なかなか理解できない。事業に参加した人の意見（アンケートなど）があれば考えやすい。
- 事業実施者、委員、市民の考えや評価を同じテーブルに乗せて検討することで分かりやすくなるのでは。
- 単年の事業に評価がつけにくいということは確かに言われるとおりのことと思う。事業ごとに参加者の意見を取り上げることも現実的には難しい。そのため、プランの検討のために市民アンケート等実施して、市民の意見も聴取しようと努めている。数値で実績を報告するようにしているので、評価の目安にして欲しい。事業内容について疑問等あれば、男女課で確認し、回答する。
- 市民意識調査の集計結果は次回会議で提示されるのか。
- 10月ではまだ分析ができていないが、集計データであればお示しすることが可能。報告書

の完成形は、2～3月には出来上がる予定である。

- 単純な事業の評価より、記述の意見の方がむしろ重要なのではないか。評価とは課題を見つけるための作業であるべきだと思う。
- 評価の方法については、3次プランの評価サイクルについても見直しする必要があるように感じる。今回いただいた意見も参考にしたい。

(4) 男女共同参画推進懇話会・意見書について

- 意見書は、①総括(会長作成)と②基本施策ごとの評価(各委員の意見を元に作成)で構成される。これを市長に提出し、懇談の材料としている。自由記入表に記入いただいた意見は、集約し、市長へ提出する意見書に反映させていく。意見書は、次回懇話会に案を提出する。:
- これまで意見書の案を事務局で作成するにあたり、それぞれの委員からいただいた多様な意見を一つの文章にまとめることに非常に苦慮していた。文章の一体性を優先して、少数意見を削除することもできない。
- 一つにまとめないといけないのか、相反する意見もそのまま掲載するのはだめか。
- 個人個人の意見の集まりではなく懇話会としてある程度方向性はまとめた方がいいのでは。事務局案を検討する機会がこれまで十分ではなかったように思う。案を検討し深めることができれば、懇話会で合意された物としてより良いものができるのでは。
- たとえば、事務局で迷う部分をそのまま懇話会に提示(事前送付)し、懇話会のなかでさらに討議していただいて深めるというのはいかがでしょうか。
- 事務局でそのやり方がよいということであれば、いいと思う。事前に見る時間があれば、よいのでは。
- ただまとめても、委員個々の意見。検討すれば、会としての意見になると思う。
- では、案のできた段階で、事前に送付するので、次回懇話会で検討していただきたい。

4 その他

※特に無し

5 事務連絡

- ・懇話会議事録について
 - …要点筆記で作成。完成次第送付するので、確認を。次回会議で承認する。
- ・次回日程について
 - …後日、日程調整を送付。10月頃を予定。

次回予定

第2回宗像市男女共同参画推進懇話会(10月ごろ予定)

議事録署名人 宗像市男女共同参画推進懇話会 委員

小森雅子

